



MSD44-47001/2

# モデリスタバージョン サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ サイドスカートをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
 本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。  
 取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。  
 なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行なってください。

## ■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MSD44-47001-A0	プラチナムホワイトパールマイカ(089)	プリウス '22.12～	
MSD44-47001-B1	アッシュ(1M2)		
MSD44-47001-C0	アティチュードブラックマイカ(218)		
MSD44-47002-NP	未塗装品		

・ フロントスポイラー NEO ADVANCE STYLE(品番:MSD41-47001/2)、シグネチャーイルミ(品番:MSD12-47001)、サイドウェルカムイルミ(MSE04-47001)、GRパフォーマンスダンパー®(品番:MS303-47004)と同時装着の場合、フロントスポイラー NEO ADVANCE STYLE、シグネチャーイルミ、サイドウェルカムイルミ、GRパフォーマンスダンパー®を先に取り付けてください。

・ 最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>

## ■ 構成部品

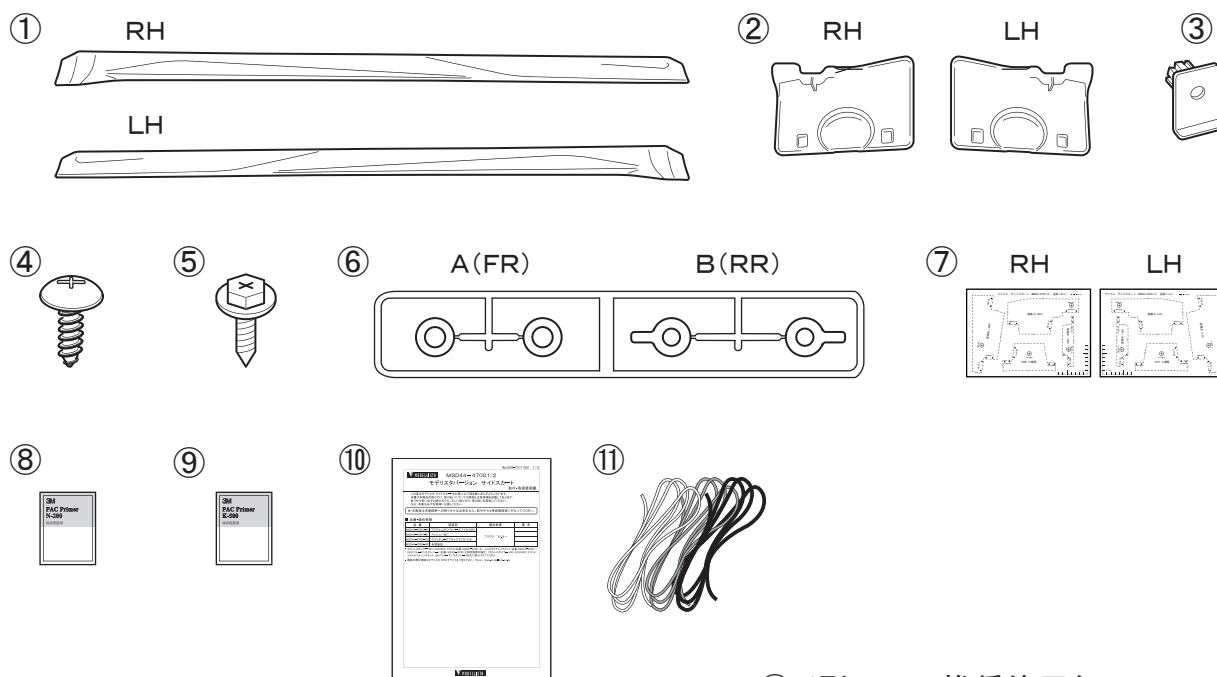
No.	品名	数量	備考
①	サイドスカート RH/LH	各1	
②	位置出しゲージ RH/LH	各1	
③	グロメット	8	
④	タッピングスクリュー	8	6×16
⑤	六角スクリュー	2	6×25
⑥	スペーサー (セット)	1	スペーサーA×2、スペーサーB×2
⑦	型紙	2	
⑧	PACプライマー (赤袋)	1	N-200 08867-00220
⑨	PACプライマー (青袋)	1	K-500 08867-00230
⑩	取付・取扱要領書	1	本書

以下、MSD44-47002-NP(未塗装品セット)のみに同梱

No.	品名	数量	備考
⑪	イ型モール	各2	Lグレー/グレー/ブラック L=2100mm

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品がそろっていることを確認してください。

## ■ 構成部品図



⑪イ型モール推奨使用色

塗装色 (色記号)	モール色
プラチナムホワイトパールマイカ (089)	ライトグレー
アッシュ (1M2)	グレー
アティチュードブラックマイカ (218)	ブラック
エモーショナルレッドII (3U5)	ブラック
マスタード (5C5)	ブラック
ダークブルー (8Q4)	ブラック
シルバーメタリック (1L0)	グレー
スーパーホワイトII (040)	ライトグレー

## 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行なってください。



**警告**

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行なうと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



**注意**

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



**アドバイス**

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



**警告**

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行なってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落等により重大な事故や故障を招くおそれがあります。



**注意**

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ❗ 本商品の装着により、タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶついたりしないよう、ご注意ください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ ⊘ 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ⊘ 両面テープは一度貼り付けてから剥がすと、接着力が低下し再貼り付けはできません。
- ⊘ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。低温で接着した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

## ■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 . . . . . 1～2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ） . . . . . 3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . . . 4
4. 未塗装品の取り扱いについて . . . . . 5
5. 補修キット両面テープ貼り付け . . . . . 6
6. 取付準備、取付要領 . . . . . 7～12
7. 取付完了後の点検・注意事項 . . . . . 12

## ■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具
- ・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・ニッパー・保護メガネ
- ・電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/10.0mm）
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

## ■ 保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

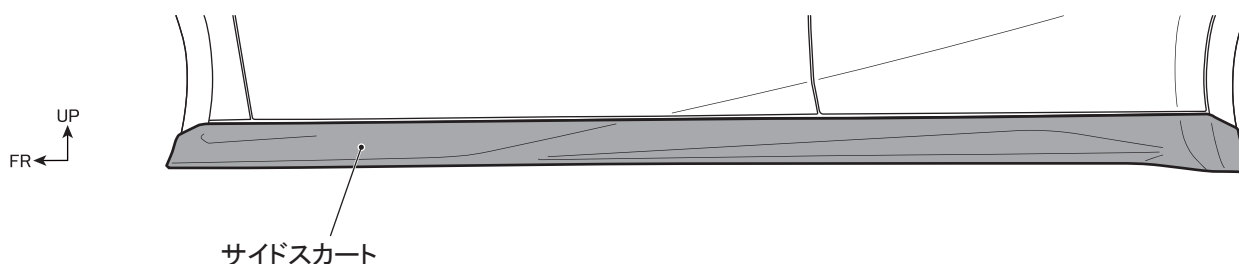
（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

## ■ 取付構成図

※LH図示



**塗装済み品の取り付けは、6ページ【サイドスカート取付準備】に進み作業を行なってください。**

### ■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品(MSD44-47002-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。  
下記要領に従い作業を行なってください。

⚠注意: 本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※ 本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

### □ サイドスカートの塗装

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。
4. 上塗り塗装を行なう。◎注記: 上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥させる。◎注記: 乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

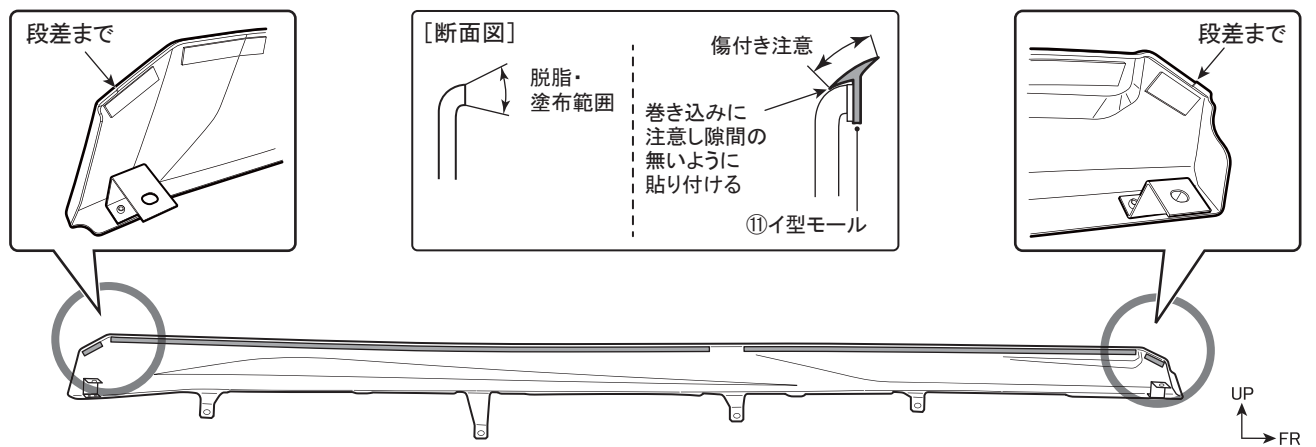
⚠警告: 両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。  
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

⚠注意: 乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

### □ モールの貼り付け

1. ①サイドスカートの①イ型モール貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみ⑨PACプライマー(青袋)を塗布する。

※LH図示 左右共通作業



⚠注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意: 脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

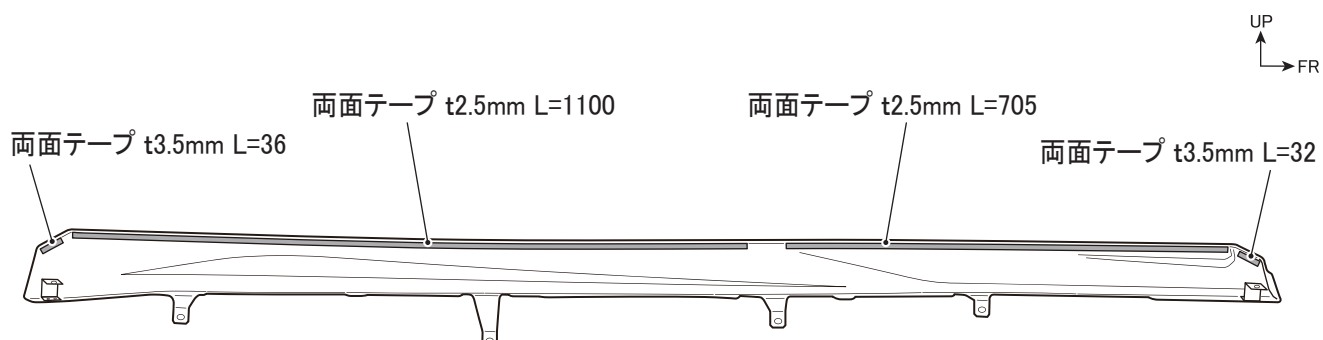
⚠注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

⚠注意: PACプライマー(青袋)は、サイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し、揮発を抑えてください。

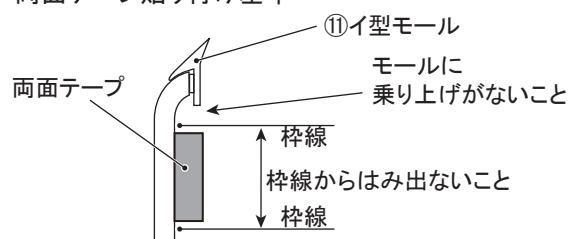
## ■ 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して①サイドスカートの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。  
 ※ 両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー(PACプライマーK-500 相当)を塗布する。

裏面視 ※LH図示 左右共通作業



### 両面テープ貼り付け基準



## ■ 取付準備、取付要領

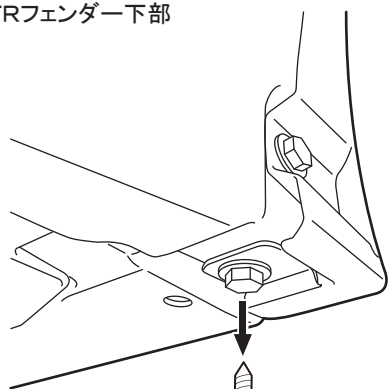
### 【車両部品の取り外し作業】

1. 図1のように、FRフェンダー下部の車両スクリュー（1箇所）、RRフェンダー下部の車両スクリュー（2箇所）および車両リヤホイールハウスペードを取り外す。

⚠注意：取り外した車両部品のうちFRフェンダー下部の車両スクリューのみ、製品取付時に再使用せず⑤六角スクリューで置き換えます。他はすべて再使用しますので、失くさないように必ず保管してください。

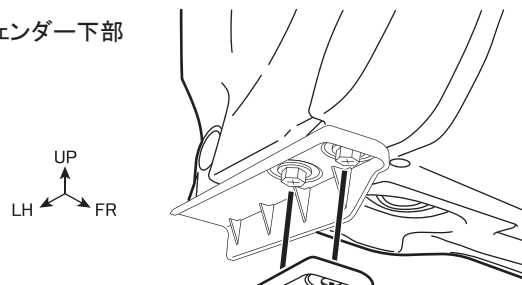
図1 ※LH図示 左右共通作業

FRフェンダー下部



取り外す  
車両スクリュー  
(⑤六角スクリューと置き換えます)

RRフェンダー下部

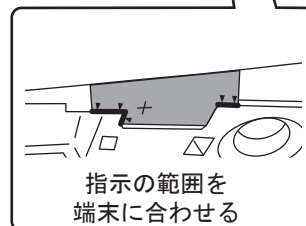
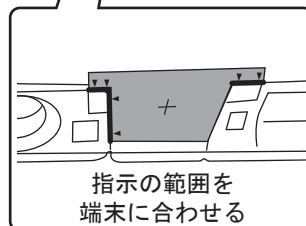
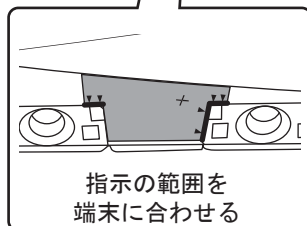
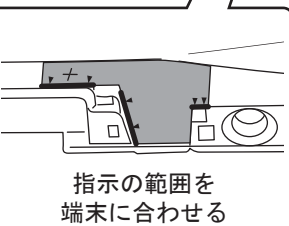
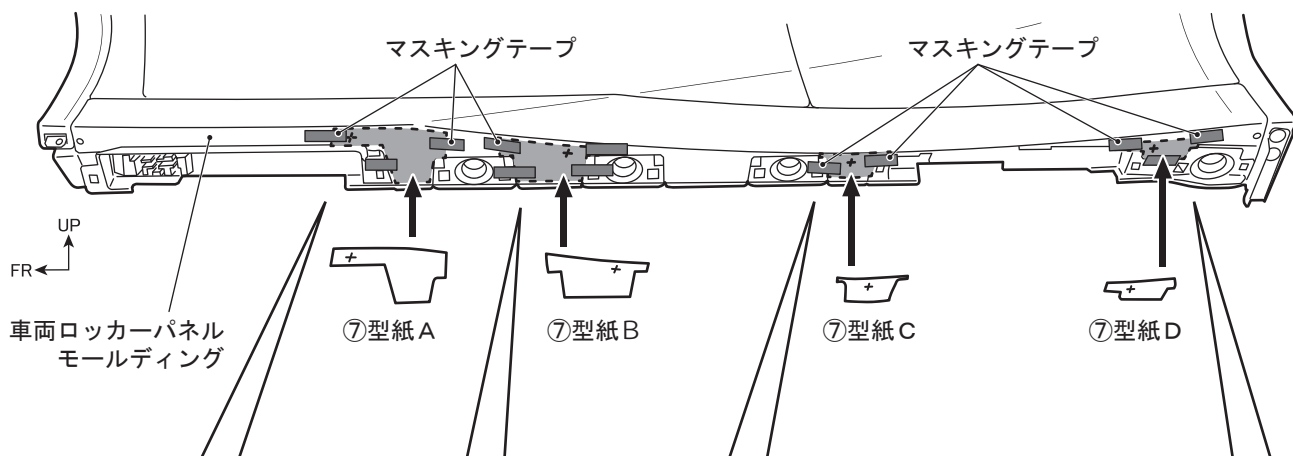


取り外す  
車両リヤホイールハウスペード  
(再使用します)  
車両スクリュー  
(再使用します)

### 【ロッカーパネルモールディングの穴あけ加工】

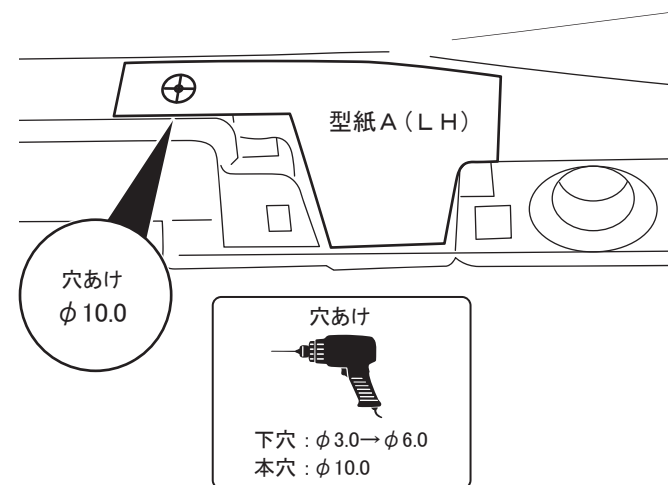
1. ⑦型紙A～Dを切り取り線で切り抜き、図2のように車両ロッカーパネルモールディング下面の形状に合わせ、マスキングテープで貼り付ける。

図2 ※LH図示 左右共通作業



2. ⑦型紙A～Dそれぞれの十字マーク中心に合わせてケガキ針または画鋏等でマーキングし型紙を取り外し、下穴を $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0$ の順であけ、 $\phi 10.0$ の本穴をあける。

図3 ※LH図示 左右共通作業 型紙Aの例 型紙B～Dも同様



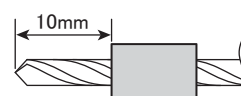
※ 穴のバリを除去して下さい。

⚠注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

👉アドバイス: 下穴をあける際は、ケガキ針または画鋏を用いて行なってください。

👉アドバイス: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

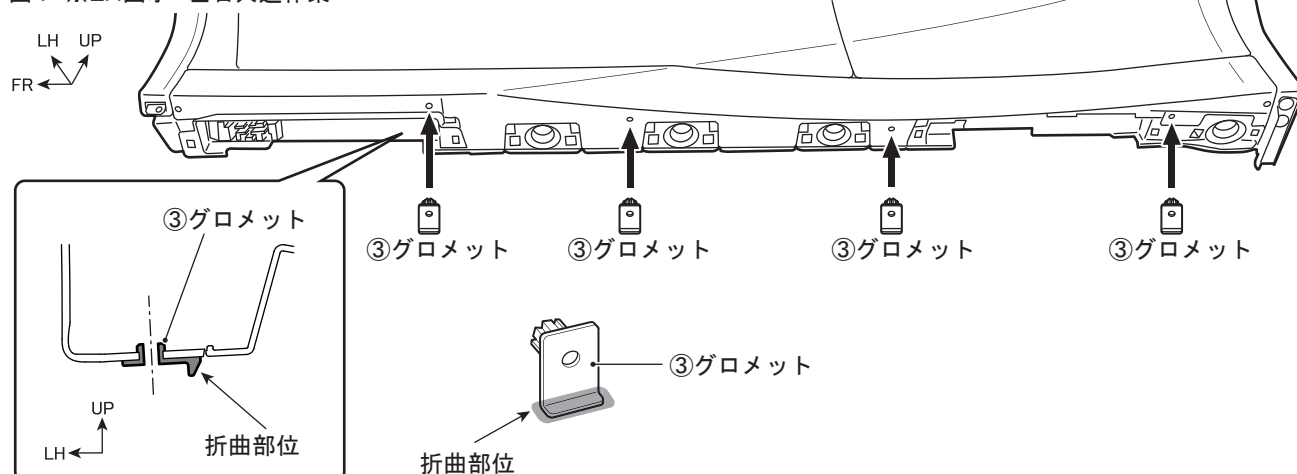
👉アドバイス: 傷つき防止のため、ドリル先端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。



3. 手順2であけた穴に、図4の様に向きに注意し③グロメットを差し込む。

👉アドバイス: ③グロメットの折曲部位が、車両の中央側に向き、図4の向きとなるように取り付けてください。

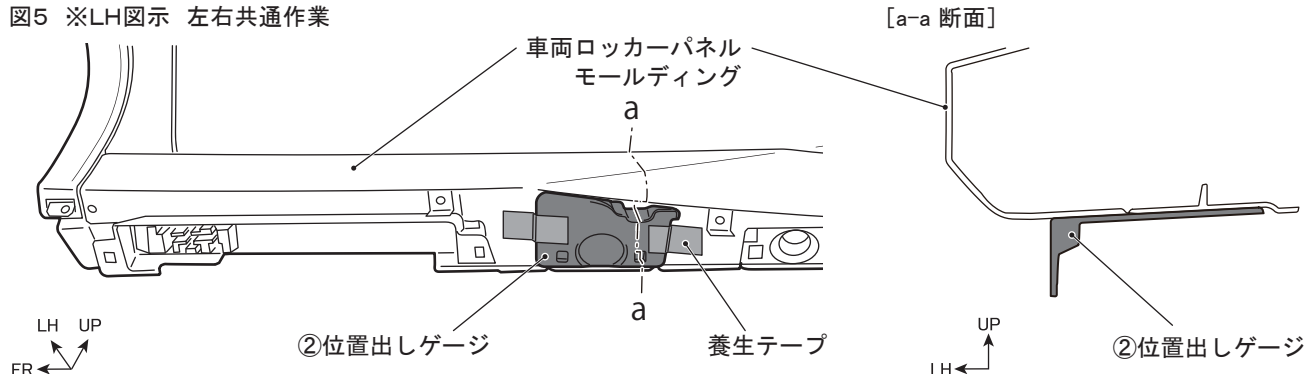
図4 ※LH図示 左右共通作業



### 【仮組とプライマー塗布】

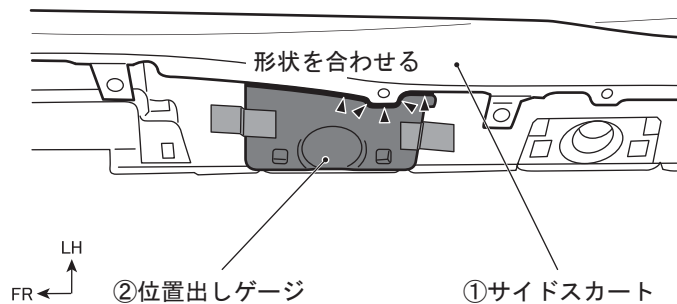
1. 車両ロッカーパネルモルディング下面の図5の位置に②位置出しゲージを、向きをよく確認して形状を合わせ、養生テープで仮固定する。

図5 ※LH図示 左右共通作業

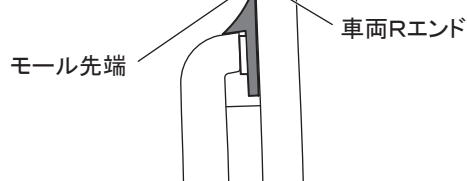


2. ①サイドスカートを手体に当て、下面の形状を②位置出しゲージの凹部形状に合わせて位置決めする(図6参照)。

図6 ※LH図示 左右共通作業

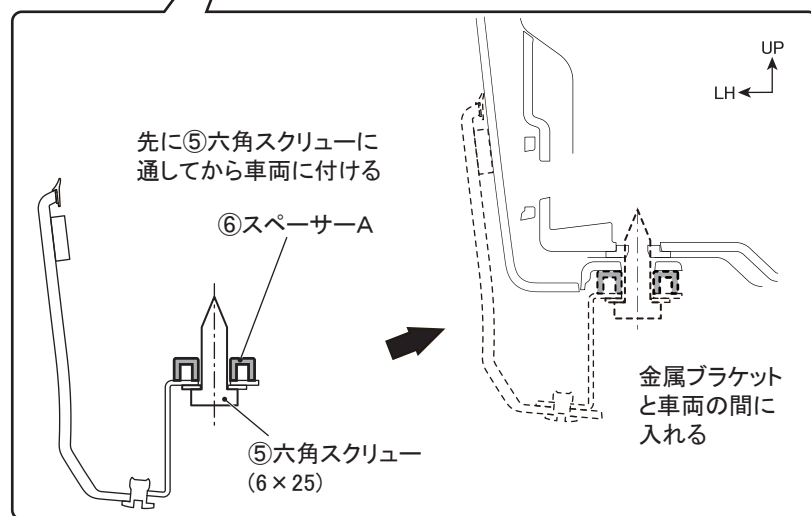
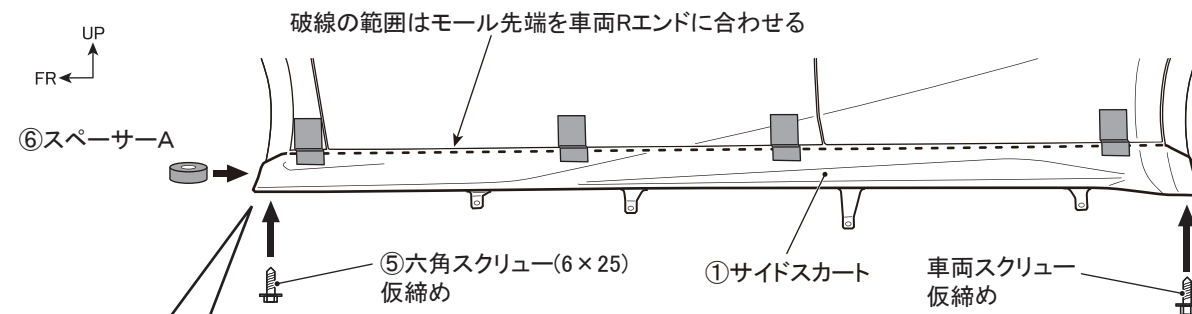


⚠注意: モール先端を車両Rエンドに合わせてください。



3. FR端末は、車両と①サイドスカートのブラケットの間に⑥スペーサーAをはさむようにして⑤六角スクリーを通して、仮締めする。RR端末は、車両スクリーを仮締めする(図7参照)。

図7 ※LH図示 左右共通作業

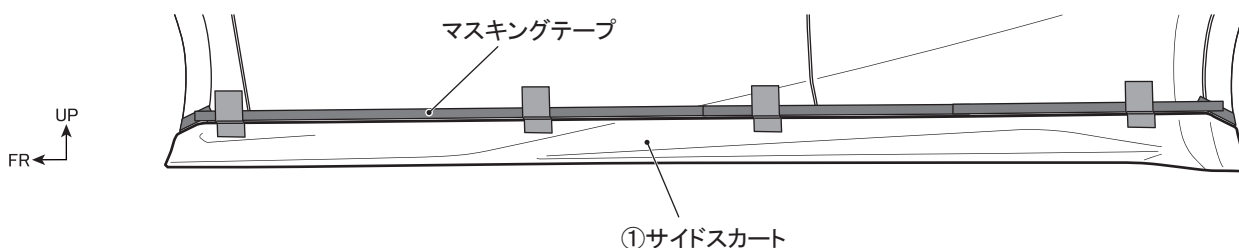


👉アドバイス: 図7の様に⑥スペーサーAを⑤六角スクリーに通してから取り付けると作業し易くなります。

4. 図8のように、①サイドスカートの外周に合わせ、マスキングテープを貼り付ける。

⚠注意: PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため、正確な位置出し、マスキングを行なってください。

図8 ※LH図示 左右共通作業



5. ①サイドスカートを取り外し、図9の斜線部をイソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、⑧PAC プライマー(N-200・赤袋)を塗布する。  
但し、前後の車両フェンダーモールディング部分については、塗装の場合は⑧PAC プライマー(N-200・赤袋)を、素地の場合は車両フェンダーモールディング部のみ⑨PACプライマー(K-500・青袋)を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意：脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

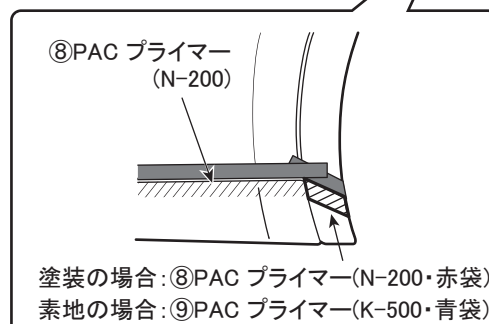
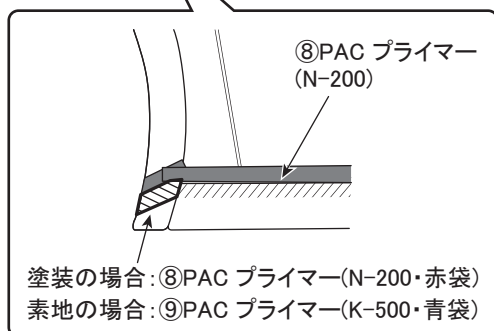
図9 ※LH図示 左右共通作業

車両フェンダーモールディング部

脱脂範囲(斜線部 約30mm均等幅)

車両フェンダーモールディング部

UP  
FR



### 【取付準備】

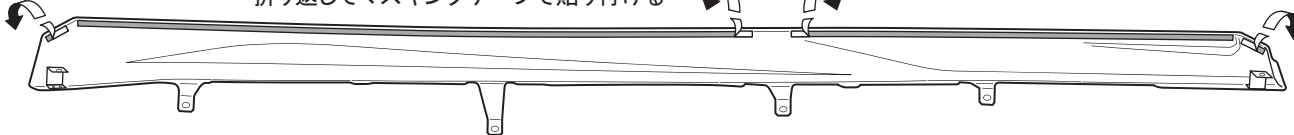
1. ①サイドスカート裏面の両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、表側に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

図10 ※LH図示 左右共通作業

裏面視

UP  
FR

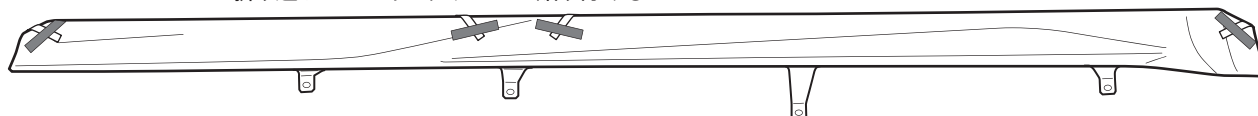
折り返してマスキングテープで貼り付ける



表面視

UP  
FR

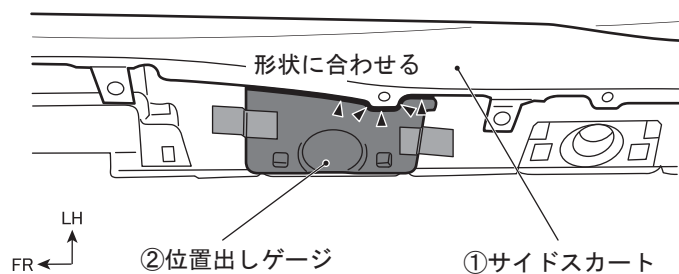
折り返してマスキングテープで貼り付ける



## 【サイドスカートの取付要領】

- ①サイドスカートを車体に当て、下面の形状を②位置出しゲージの凹部形状に合わせて位置決めする(図11参照)。  
FR末端は、車両と①サイドスカートのブラケットの間に⑥スペーサーAをはさむようにして⑤六角スクリーを通し、仮締めする(図12参照)。

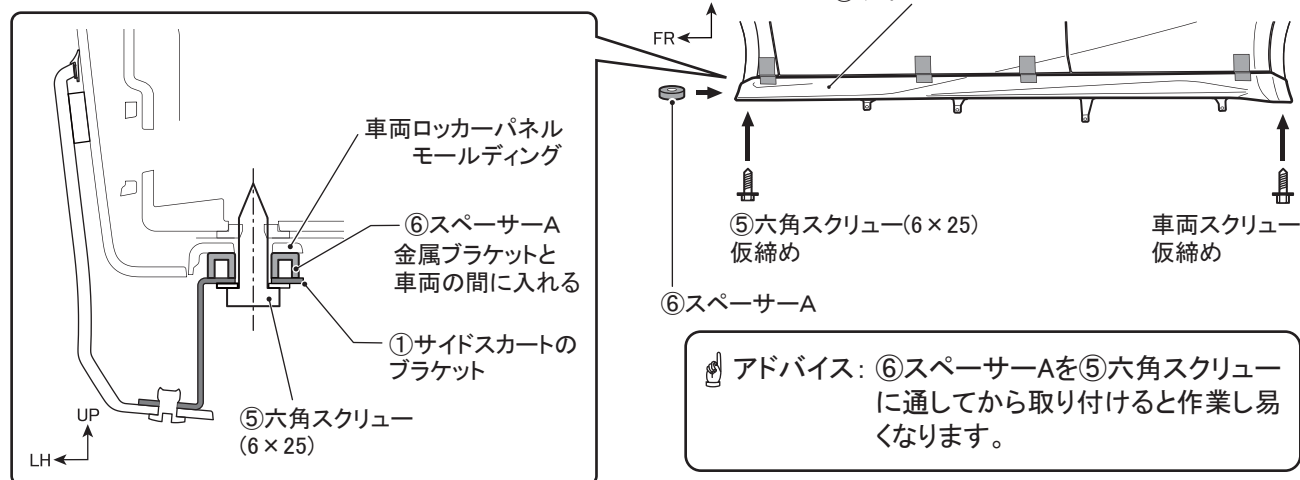
図11 ※LH図示 左右共通作業



⚠注意: モール先端を車両Rエンドに合わせてください。

モール先端 車両Rエンド

図12 ※LH図示 左右共通作業



👉アドバイス: ⑥スペーサーAを⑤六角スクリーに通してから取り付けると作業し易くなります。

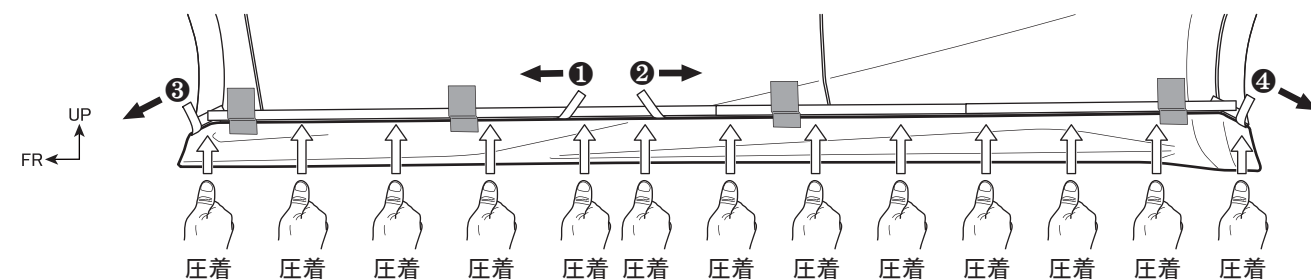
- 全体に隙、ズレがない事を確認して、図13のように①から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、圧着する。

👉アドバイス:

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かない様に気を付けて作業をしてください。
- 離型紙が途中で切れない様に、①サイドスカートを少し浮かしながら離型紙を引き抜いてください。

⚠注意: 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行なってください。

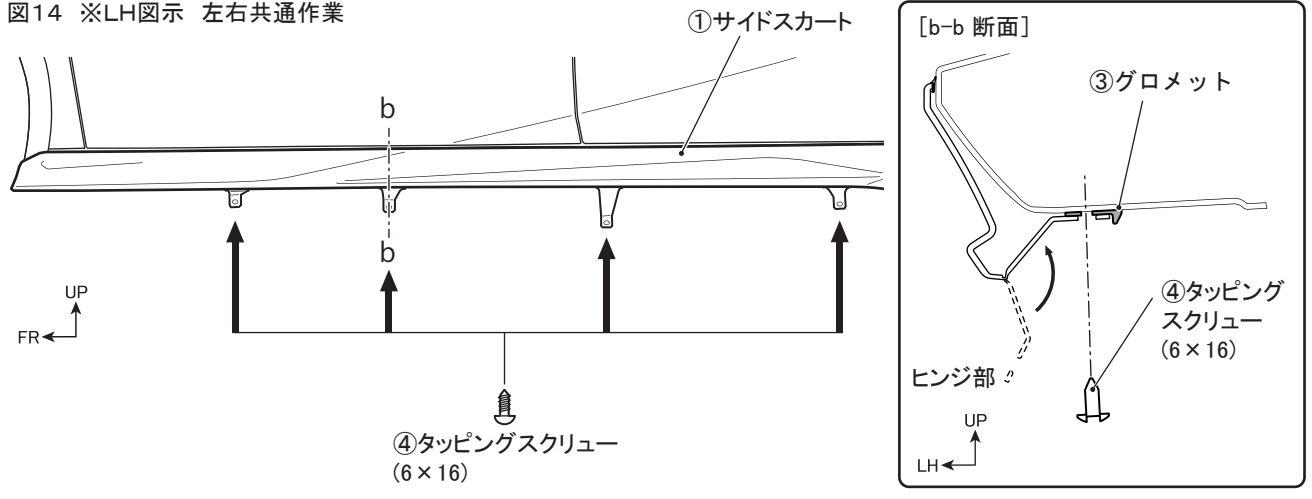
図13 ※LH図示 左右共通作業



離型紙を引き抜く際に、①サイドスカートの取り付け高さ、隙間が変わらない様に注意して下さい。

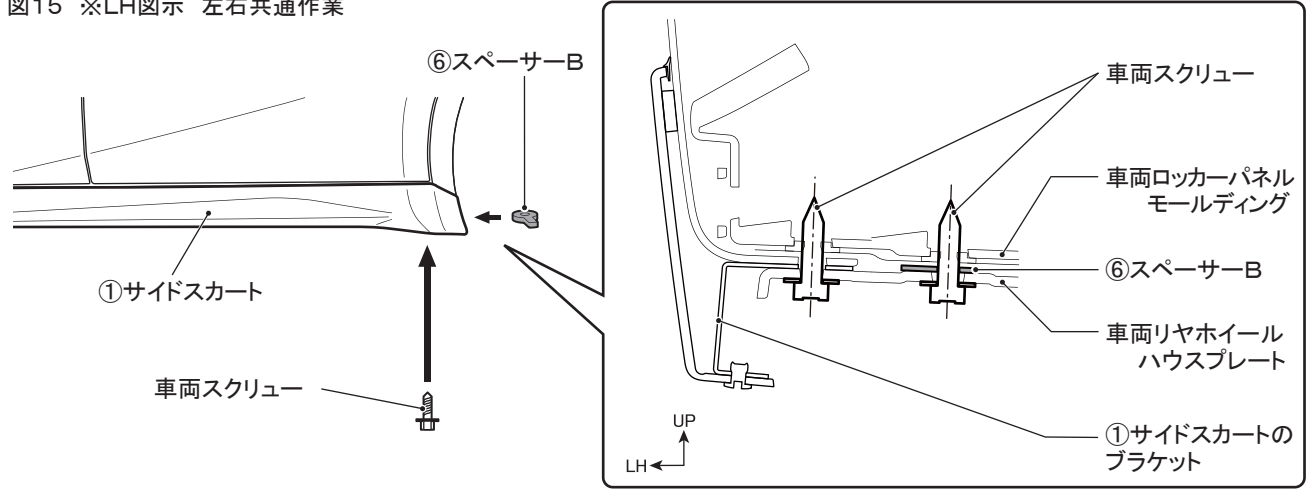
3. ④タッピングスクリューは、①サイドスカートのヒンジ部を車両ロッカーパネルモルディング側に折り曲げ、穴に通して仮締めする。

図14 ※LH図示 左右共通作業



4. 取り外した車両リヤホイールハウスプレートを取り付ける。  
車両と、①サイドスカートのブラケットおよび車両リヤホイールハウスプレートの間、⑥スペーサーBを挟むようにして車両スクリューを通し、仮締めする(図15参照)。

図15 ※LH図示 左右共通作業



5. RH側も同様の手順にて取り付ける。
6. マスキングテープを全て剥がす。
7. ②位置出しゲージ(RH/LH)を取り外す。
8. 取り付けした両面テープ貼り付け位置を再圧着する。
9. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めに本締めする。

#### ■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。  
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント  
モデリスタ商品問い合わせ窓口  
TEL:050-3161-1000  
<https://www.modellista.co.jp/>

# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

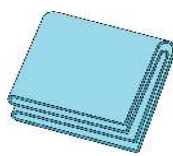


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

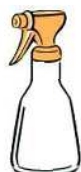
## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス




WET 用  
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)  
純度 70%程度を推奨  
※純度 100%はモールを痛めるため  
使用しないこと

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー  
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用  
燃料用として販売されている  
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは  
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。  
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。  
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



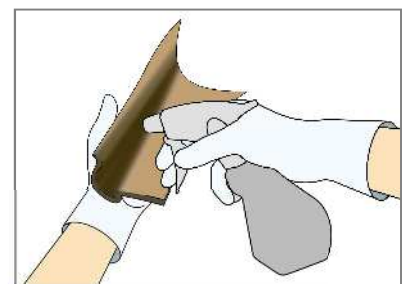
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET用ウエスにスプレーボトルを5cmほど離して、初回は10回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降はWETウエス表面が乾く前に追加で5回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

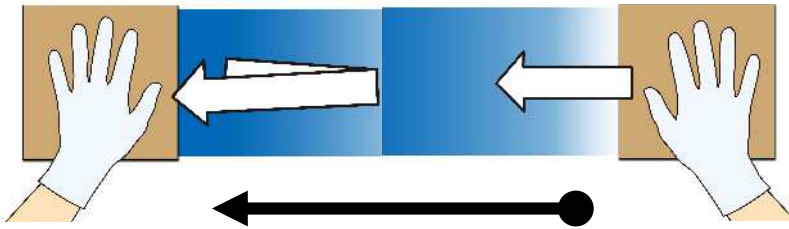
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち  
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

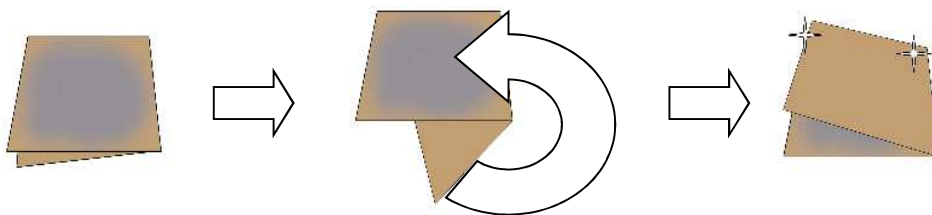
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを  
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が  
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。